

2024年3月29日
 南海電気鉄道株式会社

— 高野山世界遺産登録20周年企画 —

記念ヘッドマークを掲出した2300系車両を期間限定で運行します！

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行、以下「南海電鉄」）では、2024年5月11日から開催される、高野山世界遺産登録20周年企画「ふれたい、高野山。2024」の開催に先立ち、「こうや花鉄道」エリアを運行する2300系車両に20周年記念ロゴマークをデザインしたヘッドマークを3月31日から掲出します。



ヘッドマークを掲出した2300系車両
 （極楽橋駅側車両イメージ）

1. 概要

- (1) 運行期間 2024年3月31日（日）～2024年12月1日（日）
 ※3月31日（日）から2300系全4編成に順次掲出して運行します。
- (2) 運行区間 「こうや花鉄道」 高野線 橋本駅～極楽橋駅間

2. 記念ヘッドマークデザイン

「こうや花鉄道」区間を走行する2300系車両は、「真言密教の聖地・高野山」へ向かう車両であり、終点の「極楽橋駅」の近くにある「極楽橋」は「聖域と俗世を区切る境界」として言い伝えられていることから、極楽橋側車両は「聖域」をイメージした「赤」のヘッドマーク、反対側車両は「俗世」をイメージした「黒」のヘッドマークを掲出します。

極楽橋側車両	反対側車両

（参考）南海電鉄の高野山・山麓エリアでの取り組みについて

高野山世界遺産登録20周年企画「ふれたい、高野山。2024」を2024年5月11日（土）から開催します。
 詳細はこちら：https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/240301_1.pdf